

平成22年度

事業計画書

自：平成22年4月 1日

至：平成23年3月31日

財団法人 竜王会館

平成22年度 事業計画書

社会的、文化的事業に財団の施設を公開して地方文化水準の高揚に資するを目的とし併せて塩業に関する文化遺産を保存し、学術研究の助成を行う。「寄附行為第3条」

1. 施設の公開 「寄附行為第4条第1項」

開館日数：310日（休館日55日） 休館日は月曜日(祝祭日の場合翌日)と12月25日～1月1日

開館時間：午前9時00分～午後5時00分

入館料：大人（高校生以上） 500円

小中学生 300円

- ・団体割引 30名以上を2割引とする。
- ・障害者割引 障害者手帳持参者および付添者1名を2割引とする。
- ・その他、館長が必要と認めたときは、無料入館させることができる。

青少年の利用に対する優遇措置を次のとおりとする。

毎週土曜日、日曜日、祝祭日の小・中学生および高校生（同等の学校の児童・生徒を含む）の入館料は館則（第9条）の規定により無料とする。

また、小・中学生および高校生が授業の一環として当館を利用する場合も同様である。

学校団体の引率教員は入館料を無料とする。

入館者：年間計画40,000人

行事等：毎週土・日曜日「いきいきパスポート」（倉敷市教委主催）（年間）

倉敷市観光客誘致協議会「おいでんせえ倉敷へ」協賛（年間）

おかやま子育て家庭応援カード事業協賛（年間）

65歳以上無料招待（敬老の日）

新成人無料招待（1月）

倉敷観光コンベンションビル「倉敷雛めぐり」協賛（2月～3月）

瀬戸内倉敷ツアー参加者無料招待（3月）

2. 塩業に関係ある諸資料、古文書等を保存する展示館の設置公開、博物館の管理運営「寄附行為第4条第2項」

教育普及： 展示解説

教育活動で来館の青少年や入館者に展示解説を行い、江戸時代の建造物や製塩業の歴史を知ってもらう。

塩づくり体験教室

年間を通して塩づくり体験を可能にする。県外の修学旅行生に周知する。学校教育機関を積極的に受け入れ、塩づくり体験を通じて製塩業の歴史を学べる体験・解説を行う。食文化に対する興味を持たせる。

博物館学芸員実習生の受け入れ

学芸員資格取得を目指す学生を受け入れる。

文化財保存： 建造物総合調査報告書等参考に適切に協議し修繕箇所の保存修理工事を行う。

・今年度保存修理工事予定

防火設備改良工事

特別展・企画展： 塩田王野崎家のやきもの 細工物展 (4月～6月)

(置物や香炉など陶磁器の細工物を中心に展示)

野崎家の屏風展 (9月～10月)

(所蔵品より屏風を館内全体に展示)

トルストイから聖書を贈られた小西増太郎 (10月～11月)

(トルストイ愛用の聖書や諸資料、野崎家の台湾塩田資料を展示)

野崎家の絵巻物展 (12月～1月)

(所蔵品より様々な絵巻物を展示)

野崎家のお雛様展 (2月～3月)

(享保雛など江戸時代～大正時代のお雛様約200点を展示)

3. 瀬戸内海産業文化の研究に関する学術研究の助成 「寄附行為第4条第3項」

岡山県、倉敷市教育関係者への資料公開、提供。その他公的機関等への協力。

4. その他寄附行為第3条の目的を達成するために必要な事業 「寄附行為第4条第4項」

報道関係への取材協力：教育普及活動・行事等を周知させるため、積極的に協力する。

収益事業： 財団が所有する不動産の貸付業を附属的に行う。